平成29年度 水戸市立第一中学校

学校だより

第７号 11月21日

笑顔
感動
思いやり

学年の仲間との強い絆　～伝統の「学年名称」～

学校長　伴　敦夫

10月28日（土）に行われた「日の縦祭合唱コンクール」では，生徒たちの素直で，真っ直ぐな気持ちの表れた歌声に大きな感動をもらいました。優劣をつけるのは難しく，練習の過程を知る者にとっては，どのクラスにも金賞をあげたいという思いでありました。多くの保護者の方々にもご来場いただきましたこと，深く感謝申し上げます。11月18日（土）には，金賞を受賞した３年１組が，学校の代表として水戸市芸術館で行われた市内の各公立中学校の代表クラスが集まる「合唱の祭典」に出場し，素晴らしい歌声を披露してくれました。

11月７日（火）には，今年で52年目を迎える水戸一中１年生の伝統行事「花と語る集い」が行われました。５月中旬から約半年間かけて，菊の苗を一人一鉢専門家の方のご指導を受けながら大事に育て，背丈を超えるほどの高さに咲かせた立派な花に囲まれる中，命の尊さや感謝する心の大切さを考える集会となりました。その後，花を地域の施設等に運んで交流を図り，10日間ほど鑑賞いただいた後，切り花にして各家庭に持ち帰ったところです。

また，集会では１年生の学年名称『瑛光の仲間』が発表され，学年の団結力を高める機会となりました。学年名称が付けられたのは，昭和38年（1963年）度の第16回卒業生『プラタナスの仲間』からで，以来，本校の卒業生は「〇〇年度卒業」ではなく「〇〇の仲間」と，それぞれの思いを込めて付けられた名称に強い仲間意識を持ち，誇らしく語っていらっしゃいます。他校にはない，素晴らしい伝統であると感じています。現在在籍するそれぞれの学年名称とその名付けの由来は，次の通りです。

第３学年　**緑光の仲間**	第２学年　**蒼昊の仲間**	第１学年　**瑛光の仲間**
「光」は全ての物を温かく，優しく包んでくれます。一人一人が光り輝き，互いに優しい気持ちをもちながら明るい学年でありたいという願いが込められています。	「蒼昊」には，「青空」「大きな青い空」「天」という意味があります。雲一つない青空のような澄みきった心をいつまでももち続けようという思いが込められています。	「英」には，「優れて美しい」「輝く」などの意味があり，玉を表す「王」が組み合わさって「水晶のように透明な玉」「澄みきった玉の光」という意味があります。私たちも，澄みきった心で，光り輝く仲間になりたいという思いが込められています。

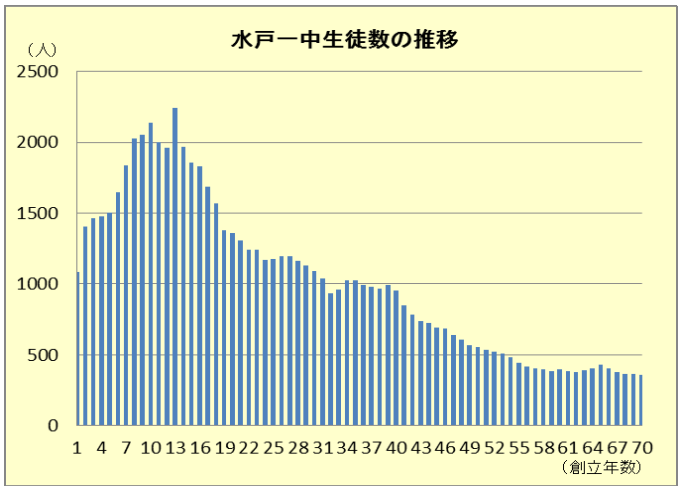
第２学期も残り１か月あまりとなりました。大きな行事でつかんだ自信をもとに，規律ある落ち着いた態度で学習や生活のまとめがしっかりできるよう指導してまいります。

創立70周年を迎える水戸一中③

昭和32年（1957年）４月６日，学校統合により柳河地区の一部が一中学区に編入されました。

昭和36年（1961年）４月１日，堀町に分校開設。石川小全学区，常磐小学区一部の１年生255人（５学級）・２年生282人（６学級）で発足しました。同年11月１日，分校は独立し，水戸市立第五中学校として発足しました。

前年度（創立13年目）の生徒数は2,246人（42学級）と，水戸一中の歴史の中で最多となりました。その後も生徒数の増加等が見込まれたため，分校を発足して大規模校の解消を図ったものと思われます。本年度の生徒数 357人（５月１日現在）は，過去最少となっています。



昭和39年（1964年）４月27日，２年生の「チューリップ祭り」が始まりました。（次年度以降，「花と語る集い」となりました。）